

入 試 要 項

ディプロマ・コース

桐朋学園大学音楽学部

2027



目 次

楽器略語・コード表	1
入試に関する問い合わせ先・出願書類提出先	1
ディプロマ・コースについて	2
ソリスト・ディプロマ・コース(SD) 募集要項	4
ソリスト・ディプロマ・コース (SD) 入学試験課題	6
カレッジ・ディプロマ・コース(CD) 募集要項	8
カレッジ・ディプロマ・コース(CD) 入学試験課題	11
出願書類等(新規受験者－SD・CD)	18
出願書類記入上の諸注意	19
在籍者の履修継続(再登録) 手続について	21
ソリスト・ディプロマ・コースの教育課程について	23
カレッジ・ディプロマ・コースの教育課程について	24
特待生制度および奨学金制度・学生会館	27
交通機関案内図	28

<個人情報の取り扱いについて>

本入学試験以外の目的では使用しない。

◆ 出願にあたっては、この入試要項の他に以下を準備すること。

新規受験者

<ダウンロードする書類等>

- ・ディプロマ・コース志願票
- ・受験曲目票
- ・受験証、出願書類送付先票(貼付用)
- ・伴奏譜提出票(カレッジ・ディプロマ・コース)
- ・桐朋学園音楽部門奨学金申請書(ソリスト・ディプロマ・コース入学試験希望者のみ)
- ・桐朋学園音楽部門学生会館入居願(希望者のみ)

<各自で用意するもの>

- ・レターパックライト(ダウンロードした出願書類送付先票を、宛先欄に貼付する。)
- ・受験証返送用封筒(長 3 封筒に 410 円分の切手を貼付し出願書類に同封する。)
※志願者本人が受け取る住所を記入し、志願者名を「様」書きにて記入する。封筒右下に「専攻」を記入する。
- ・写真 2 枚(背景なし、正面上半身脱帽、3 カ月以内に撮影したもの、タテ4cm×ヨコ3cm、裏面に氏名を記入)

継続手続者

<事務局入試係から郵送される書類等>

- ・ディプロマ・コース志願票 履修継続(再登録)用
- ・受付証

<各自で用意するもの>

- ・レターパックライト(出願書類送付先票を、宛先欄に貼付する。)
- ・写真 1 枚(背景なし、正面上半身脱帽、3 カ月以内に撮影したもの、タテ4cm×ヨコ3cm、裏面に氏名を記入)

楽器略語・コード表

*はソリスト・ディプロマ・コースの募集専攻

専攻		楽器略語	コード
ピアノ *		Pf	01
弦楽器	ヴァイオリン *	Vl	11
	ヴィオラ	Va	12
	チェロ *	Vc	13
	コントラバス	Cb	14
管楽器	ピッコロ	Picc.	26
	フルート *	Fl	21
	オーボエ	Ob	22
	クラリネット	Cl	23
	バス・クラリネット	B.Cl	27
	ファゴット	Fg	24
	サクソフォン	Sx	25
	トランペット	Tp	31
	テノール・トロンボーン	TT	32
	バス・トロンボーン	BT	33
	ユーフォonium	Eu	34
	チューバ	Tu	35
ホルン	Hr	36	
打楽器	パーカッション	Pc	41
	マリンバ	Ma	42
ハープ		Hp	51
古楽器	リコーダー	Re	61
	フラウト・トラヴェルソ	FT	62
	バロック・オーボエ	BO	63
	ヴィオラ・ダ・ガンバ	VG	64
	チェンバロ	Ce	65
	バロック・ヴァイオリン	BV	66
	バロック・チェロ	BC	67
声楽	女声 *	Vf	71
	男声 *	Vm	72
作曲		Co	81
指揮		Cd	82
ミュージコロジー(旧音楽学)		Mu	91

入試に関する問い合わせ先・出願書類提出先

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1

桐朋学園大学音楽学部 事務局入試係

電話:03-3307-4122(直通) メール: exam@tohomusic.ac.jp

問い合わせ時間:月～金:午前9時～午後4時

(祝日や長期休暇期間中の、事務局閉室日は対応できません。)

ディプロマ・コースについて

桐朋学園大学音楽学部の附属コースには、大学設置基準第31条に定める「科目等履修生」の一種として、以下のコース等がある。

コース名(受験資格)	募集専攻	コースの特色
ソリスト・ディプロマ (中学校卒業以上)	ピアノ ヴァイオリン チェロ フルート 声楽(2026年度より新設)	ソリストとして将来性を有すると認められた者を対象に、高度な実技教育を行うことを目的としたコース。
カレッジ・ディプロマ (高等学校卒業以上)	音楽学部に設置されている全専攻	実技を中心とした教育を受ける場として、様々な学生を受け入れることを前提として設置されたコース。18歳～50歳以上まで幅広い年齢の学生が在籍している。
研究生 (大学音楽学部卒業以上)	管楽器・打楽器・ハープ 古楽器・指揮	大学卒業後、引き続き専攻実技の研究を深めたい者のためのコース。大学院があるピアノ、弦楽器、声楽、作曲、音楽学は、募集していない。
科目等履修生 (高等学校卒業以上)	専攻実技の受講は不可	大学で開講されている授業科目の単位修得を目的として設置されたコース。1科目から受講可能。

本学は「ソリスト」「カレッジ」の2つのディプロマ・コースを設置している。

ディプロマ・コースは、規定の年限在籍し、科目を修得した場合は、「コース修了証」が授与される。

これは、本学独自の修了認定で、大学を卒業した時に与えられる「学位(学士)」とは異なる。

ソリスト・ディプロマ・コース(SD)

ソリストとしての将来性を有すると認められた者を対象に高度な実技教育を行うことを目的としているコースで1973年に開設された。

近年の在籍者数

	2026年度	2025年度	2024年度
ピアノ	5	8	7
ヴァイオリン	5	8	6
チェロ	1	5	6
フルート	1	2	2
声楽	0	1	

このコースの必修科目は、専攻実技のほか、音楽理論・音楽史・ソルフェージュの3科目である。在籍している学生の中には、普通科の高校や一般の大学へ通いながら「ダブル・スクール」を実践している学生や、演奏活動と両立させている学生がいる。このコースを修了するためには通算3年以上在籍し、必修科目の単位を修得、修了試験に合格する必要がある。また、入学試験または所定の学内試験における専攻実技の成績が極めて優秀であると認められた者には「登録料」や「受講料」等の全額または一部が免除される「特待生制度」もある。

過去3年のソリスト・ディプロマ・コース入試結果

	2026年度		2025年度		2024年度	
	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
ピアノ	2	1	2	2	5	3
ヴァイオリン	2	1	3	3	5	1
チェロ	0	0	0	0	1	1
フルート	0	0	0	0	1	1
声楽	0	0	1	1		

カレッジ・ディプロマ・コース(CD)

実技を中心に教育を行うことを目的とし、大学進学に代わる場として、海外留学のための準備の場として、大学卒業後の更なる研鑽の場として、あるいは他大学に学びながら専門教育を受ける場としてなど、様々な志向に応えるべく1996年に設置された。

近年の在籍者数

	2026年度	2025年度	2024年度
ピアノ	20	15	18
弦楽器	25	34	24
管楽器	3	2	1
打楽器	1	1	1
ハープ	0	0	0
古楽器	1	1	1
声楽	10	9	10
作曲	6	3	1
指揮	0	0	0
ミュージコロジー(音楽学)	2	2	3

このコースの「修了証」を取得するためには、通算3年以上在籍する必要がある。「年次修了」の通知を2回取得した者に、コース修了試験の受験資格が与えられる。「年次修了」するためには、専攻実技のほか、大学で開講されている「専門科目」を3科目以上履修することが必要である。在籍している学生は年齢層も幅広く、それぞれの目的に合わせて学んでいる。

過去3年のカレッジ・ディプロマ・コース入試結果

	2026年度		2025年度		2024年度	
	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
ピアノ	13	13	9	9	9	9
弦楽器	12	11	22	22	14	13
管楽器	3	3	2	2	0	0
打楽器	0	0	0	0	1	1
ハープ	0	0	0	0	0	0
古楽器	0	0	1	1	0	0
声楽	2	2	3	3	3	3
作曲	6	4	2	2	3	2
指揮	0	0	0	0	0	0
ミュージコロジー (音楽学)	0	0	0	0	2	2

- * 桐朋学園大学音楽学部、桐朋女子高等学校音楽科との同時在籍はできない。
ただし、桐朋学園大学音楽学部研究生との同時在籍は可能。
- * ディプロマ・コース生は「科目等履修生」にあたるため、学割証や通学証明書は交付されない。

ソリスト・ディプロマ・コース（SD）募集要項

募集専攻：ピアノ専攻、ヴァイオリン専攻、チェロ専攻、フルート専攻、声楽専攻

募集人員：各専攻 若干名

受験資格：中学校卒業以上の者（2027年3月中学校卒業見込みの者を含む）

選考試験科目：専攻実技のみ（試験課題はP.6～参照）

出願手続：

1) 受付期間 2026年11月9日(月)～11月19日(木)【郵送に限る。11月19日必着】

①入学検定料納入期間	2026年11月9日(月)～11月18日(水) 23時59分
②出願書類郵送期間	2026年11月9日(月)～11月19日(木) <郵送必着>

下記出願手続きにより、レターパックライトに出願書類を同封して期限までに送付すること。

2) 出願方法


STEP 1 出願書類のダウンロード

① 以下の URL より「WEB 出願申請準備」を行う。
URL：<https://www.secure-cloud.jp/sf/1601484917lxCLvHZD>

② 「sf@secure-cloud.jp」より受付完了メールを受信

③ メールに記載された URL より「出願書類」をダウンロードし、印刷・記入

※受付完了メールを受信できるよう事前に@secure-cloud.jp のドメイン指定解除設定を行うこと。
利用する携帯キャリアにより迷惑メールに振り分けられる場合があるので確認すること。
※また、その後の連絡用に@tohomusic.ac.jp のドメイン解除設定も行うこと。



STEP 2 入学検定料納入

出願期間内に振り込み手続きを行う。(次ページ「3) 入学検定料納入方法」を参照)

STEP 3 出願書類・入学検定料振込明細の郵送

出願書類及び STEP2 で入学検定料を振り込んだことが分かる書類をレターパックライトに同封して郵送

3) 入学検定料納入方法

入学検定料	55,000 円
振込先	・みずほ銀行調布支店 当座9778 ・三菱UFJ銀行仙川支店 当座49612 ・三井住友銀行国領支店 当座1015159
振込先口座名義	学校法人桐朋学園音楽科 [ガク)トウホウガクエンオンガクカ]
注意事項	振込みの際は、振込人名義を「受験者名」とし、名前の前に「1311」と加えること。(例：1311 トウホウ タロウ) [注] 出願が受理されている場合、入学試験を受験しなくても払込済みの入学検定料は返還しない。

試験日程：ピアノ 12月15日(火)

弦楽器、フルート、声楽 12月16日(水)

※ いずれも仙川キャンパスで実施

※ 出願後に受験を取りやめる場合は、事前に本学へ電話連絡すること。

合格発表: 日時……12月18日(金) 16時予定

方法……本学ホームページに掲載する。また、志願票に記載された宛先に
入学手続書類を郵送する。

入学手続: 1) 手続期間……2027年1月8日(金)～22日(金) [郵送必着]

2) 校納金(2027年度予定)

登録料		450,000円	※
受講料	前期	450,000円	※
	後期	450,000円	
施設設備費	前期	50,000円	※
	後期	50,000円	
別納受講料	選択副科(声楽以外)	96,000円	年額、希望者のみ
	選択副科(声楽)	66,000円	年額、希望者のみ
	室内楽・二重奏ソナタ	50,000円	年額、希望者のみ

注1) ※印のついた校納金[950,000円]を入学手続時に納める。

注2) 経済情勢の変動等に応じて次年度以降の校納金については改定があり得る。

3) 提出書類等

- ① 「入学手続納付金払込用紙」の副票
- ② 誓約書(本学指定用紙)
- ③ 身元保証書(本学指定用紙)
- ④ 学籍台帳(本学指定用紙)
- ⑤ 写真
(背景なし、正面上半身脱帽、3カ月以内に撮影したもの、タテ4cm×ヨコ3cm)
- ⑥ 住民票または住民票記載事項証明書1通
(マイナンバーは不要。入学する本人のみ記載のもの、本籍の記載も必要)
- ⑦ 著作隣接権等の取り扱いに関する同意書 他

※詳細は入学手続書類の発送時に「合格者心得」で通知する。

ソリスト・ディプロマ・コース（SD）入学試験課題

ピアノ専攻

以下の(1)～(6)を合わせて、60分以上のプログラムを用意し、暗譜で演奏する。
試験日前日までに演奏箇所を指定する。(メールで個別に連絡する)

- (1) F.Chopin のエチュードから任意の1曲。
- (2) 以下の作曲家のエチュードの中から任意の1曲。
F.Chopin, F.Liszt, C.Debussy, S.Rachmaninoff, A.Scriabin, B.Bartók,
I.Stravinsky, K.Szymanowski, S.Prokofiev, G.Ligeti
- (3) J.S.Bach: Das Wohltemperierte Klavier I・II から任意の1曲(プレリュードとフーガ)
- (4) L.v.Beethoven: Sonate の中から任意の1曲(全楽章)
- (5) ロマン派の作品の中から任意の作品(複数曲でも良い)
- (6) 近代・現代の作品の中から任意の作品(複数曲でも良い)

ヴァイオリン専攻

以下の(1)、(2)、(3)をいずれも暗譜で演奏する。(1)のピアノ伴奏者は、各自同伴すること。

- (1) 以下のコンチェルトの中から任意の1曲(第1楽章または終楽章または指定された箇所)

B.Bartók	: 第2番
J.Brahms	: D-dur
M.Bruch	: 第1番 g-moll
A.Dvořák	: a-moll
E.Elgar	: h-moll
H.W.Ernst	: fis-moll op.23(独奏部分から第237小節まで)
A.Glazunov	: a-moll(第1部:アレグロの前まで、または 第2部:アレグロから)
E.Lalo	: スペイン交響曲
F.Mendelssohn	: e-moll
N.Paganini	: 第1番 D-dur
S.Prokofiev	: 第1番 D-dur
S.Prokofiev	: 第2番 g-moll
C.Saint-Saëns	: 第3番 h-moll
J.Sibelius	: d-moll
P.I.Tchaikovsky	: D-dur
H.Vieuxtemps	: 第5番 a-moll(アダージェョの前まで)
H.Wieniawski	: 第1番 fis-moll
H.Wieniawski	: 第2番 d-moll
- (2) N.Paganini: カプリスの中から任意の1曲(No.24 以外は繰り返しなし)
- (3) J.S.Bach: 無伴奏ソナタの中から任意の1曲の第1、2楽章

チェロ専攻

以下の(1)、(2)、(3)の順に暗譜で演奏する。尚、演奏の途中でカットする場合がある。

(3)のピアノ伴奏者は、各自同伴すること。

- (1) スケール4オクターブ 一弓8音 C-dur と a-moll
 6度の重音スケール 3オクターブ 一弓2音 C-dur
 8度のオクターブ 3オクターブ 一弓2音 C-dur
- (2) Bach: 無伴奏組曲 No.4、No.5、No.6 の中から任意のプレリュード1曲
- (3) 以下のコンチェルト等の中から任意の1曲(第1楽章または終楽章)
 - L.Boccherini : B-dur
 - A.Dvořák : h-moll
 - E.Elgar : e-moll(1, 2楽章または終楽章)
 - J.Haydn : 第1番 C-dur
 - J.Haydn : 第2番 D-dur
 - A.Khachaturian : e-moll
 - E.Lalo : d-moll
 - S.Prokofiev : 第2番 e-moll op.125 Sinfonia Concertante
 - C.Saint-Saëns : 第1番 a-moll op.33
 - R.Schumann : a-moll
 - D.Shostakovich : 第1番 Es-dur op.107
 - P.I.Tchaikovsky : Rococo-Variations(主題と最終変奏を含めて10分程度にまとめる)
 - S.Barber : op.22
 - D.Kabalevsky : op.49
 - S.Prokofiev : op.132 Concertino
 - W.Walton

フルート専攻

以下の(1)、(2)、(3)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

(2)のピアノ伴奏者は、各自同伴すること。

- (1) J.S.Bach: Partita BWV1013 より Sarabande
- (2) 以下の(a)～(e)から任意の1曲を演奏する
 - (a) J.Ibert : Concerto
 - (b) A.Jolivet : Concerto pour flûte et orchestre a cordes
 - (c) C.Nielsen : Concerto
 - (d) S.Prokofiev : Sonata op.94
 - (e) F.Schubert : Introdution und Variationen "Trockne Blumen" D802
- (3) 以下の(a)～(c)から任意の1曲を演奏する
 - (a) L.Berio : Sequenza
 - (b) I.Yun : Etüden(任意の楽章)
 - (c) 上記(a)、(b)と同難易度で1950年以降に作曲された無伴奏作品

声楽専攻

暗譜で演奏する。ピアノ伴奏者は、各自同伴すること。

以下の(1)～(3)すべての条件を満たす、45分程度(40分以上)のプログラムを用意する。

- (1) 3か国語以上の作品
- (2) a オラリオ b オペラ c 歌曲 より2分野以上
- (3) モーツァルト以前(モーツァルトを含む)の時代の作品を含む
 - * オラトリオ／オペラアリアは原調・原語。ただし、慣習的に認められている移調に関してはこの限りではない。
 - * 歌曲は原語で、移調可能。
 - * 曲名は原語で記入すること。
 - * 前奏・間奏・後奏は省略可。

カレッジ・ディプロマ・コース（CD）募集要項

募集専攻:

ピアノ専攻

弦楽器専攻

管楽器専攻

[ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス]

[ピッコロ、フルート、オーボエ、クラリネット、バス・クラリネット、ファゴット、サクソフォン、トランペット、テノール・トロンボーン、バス・トロンボーン、ユーフォニウム、チューバ、ホルン]

打楽器専攻

ハープ専攻

古楽器専攻

[マリンバ、パーカッション]

[リコーダー、フラウト・トラヴェルソ、バロック・オーボエ、バロック・ヴァイオリン、バロック・チェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、チェンバロ]

声楽専攻

作曲専攻

指揮専攻

ミュージコロジー専攻

募集人員: 各専攻 若干名

受験資格: 高等学校卒業以上の者(2027年3月高等学校卒業見込みの者を含む)、および同等以上の学力を有すると本学が認めた者。

選考試験科目: 専攻実技のみ(試験課題は P.11～参照)

ただし、次に該当する者で専攻実技の変更がない場合に限り実技試験は免除される。

- a) 桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部または大学院を卒業見込みの者。
- b) 上記を卒業後1年以内の者。
- c) 桐朋学園大学音楽学部を中途退学(ただし、桐朋学園大学学則第43条による退学を除く)して1年以内の者。

出願手続:

1) 受付期間 2027年2月1日(月)～2月10日(水)【郵送に限る。2月10日必着】

① 入学検定料納入期間	2027年2月1日(月)～2月9日(火)23時59分
② 出願書類郵送期間	2027年2月1日(月)～2月10日(水) 郵送必着

以下に記載する出願手続により、レターパックライトに出願書類を同封して期限までに送付すること。

2) 出願方法

STEP 1 出願書類のダウンロード

① 以下の URL より「WEB 出願申請準備」を行う。

URL : <https://www.secure-cloud.jp/sf/1601484917lxCLvHZD>

② 「sf@secure-cloud.jp」より受付完了メールを受信

③ メールに記載された URL より「出願書類」をダウンロードし、印刷・記入

※受付完了メールを受信できるよう事前に@secure-cloud.jp のドメイン解除設定を行うこと。
利用する携帯キャリアにより迷惑メールに振り分けられる場合があるので確認すること。

※また、その後の連絡用に@tohomusic.ac.jp のドメイン解除設定も行うこと。

**STEP 2 入学検定料納入**

出願期間内に振り込み手続きを行う。(下記「3) 入学検定料納入方法」を参照)

STEP 3 出願書類・入学検定料振込明細の郵送

出願書類及び STEP2 で入学検定料を振り込みしたことが分かる書類をレターパックライトに同封して郵送

3) 入学検定料納入方法

入学検定料	55,000 円
振込先	・みずほ銀行調布支店 当座 9778 ・三菱 UFJ 銀行仙川支店 当座 49612 ・三井住友銀行国領支店 当座 1015159
振込先口座名義	学校法人桐朋学園音楽科 [ガク)トウホウガクエンオンガクカ]
注意事項	振込みの際は、 <u>振込人名義を「受験者名」とし、名前の前に「1341」と加えること。</u> (例: 1341 トウホウ タロウ) [注] 出願が受理されている場合、入学試験を受験しなくても払込済みの入学検定料は返還しない。

試験日程:

伴奏合わせ	2月25日(木)	伴奏合わせ・試験当日の集合時間については、本学ホームページを確認すること。 (実施日の3日前までに掲載) https://www.tohomusic.ac.jp/college/admissions/exam-information/
試験	2月26日(金)	試験実施会場(仙川または調布)は受験証返送時に連絡する。

- 伴奏者は、本学で準備する。伴奏譜を志願票とともに必ず提出する。コピー譜の場合は、伴奏者が演奏しやすいように屏風綴じにするなどの配慮のうえ提出する。レターパックに入らない場合は、簡易書留郵便での郵送も可とする。
- 出願後に受験を取りやめる場合は、事前に必ず本学へ電話連絡すること。

合格発表: 日時 …2027年3月5日(金) 17時予定

方法 …合格者の受付番号を学内(仙川キャンパス)掲示発表および本学ホームページに掲載する。また、志願票に記載された宛先に入学手続書類を郵送する。

入学手続: 1) 手続期間…2027年3月6日(土)～15日(月) [郵送必着]

2) 校納金(2027年度予定)

登録料		200,000円	※
受講料	前期	450,000円	※
	後期	450,000円	
施設設備費	前期	50,000円	※
	後期	50,000円	
別納受講料	選択副科(声楽以外)	96,000円	年額、希望者のみ
	選択副科(声楽)	66,000円	年額、希望者のみ
	室内楽・二重奏ソナタ	50,000円	年額、希望者のみ
	理論ピアノ	160,000円	年額、希望者のみ

注1) 印のついた校納金[700,000円]を入学手続時に納める。

注2) 経済情勢の変動等に応じて次年度以降の校納金については改定があり得る。

3) 提出書類等

- ① 「入学手続納付金払込用紙」の副票
- ② 誓約書(本学指定用紙)
- ③ 身元保証書(本学指定用紙)
- ④ 学籍台帳(本学指定用紙)
- ⑤ 写真(タテ4cm×ヨコ3cm)1枚
- ⑥ 住民票または住民票記載事項証明書1通
(マイナンバーは不要。入学する本人のみ記載のもの、本籍の記載も必要)
- ⑦ 著作隣接権等の取り扱いに関する同意書 他

※詳細は入学手続書類の発送時に「合格者心得」で通知する。

カレッジ・ディプロマ・コース（CD）入学試験課題

ピアノ専攻

以下の(1)、(2)を暗譜で演奏する。全体で12分以上とする。

- (1) バロックから古典派の作品
- (2) ロマン派以降の作品

- * ピアノ独奏用作品に限る。
- * 出版されているものに限る。
- * 内部奏法等を含んだ作品は除く。
- * (1)、(2)とも複数の曲でも可。
- * ソナタの楽章の抜粋や、組曲からの抜粋は可。
- * 変奏曲の抜粋は不可。
- * 繰り返しは省略すること。
- * 時間の都合により、一部省略させることがある。
- * 試験は、(1)と(2)に分けて行う。

弦楽器専攻

以下の(1)、(2)、(3)をいずれも暗譜で演奏する。(専攻楽器によって課題曲数は異なる。)
伴奏者は本学で準備する。(無伴奏作品を除く)

a) ヴァイオリン

- (1) N.Paganini: カプリスの中から任意の1曲 (No.24 以外は繰り返しなし)
- (2) 以下のコンチェルトの中から任意の1曲 (第1楽章または終楽章または指定された箇所)

B.Bartók	: 第2番
J.Brahms	: D-dur
M.Bruch	: 第1番 g-moll
A.Dvořák	: a-moll
E.Elgar	: h-moll
H.W.Ernst	: fis-moll op.23 (独奏部分から第237小節まで)
A.Glazunov	: a-moll (第1部:アレグロの前まで、または 第2部:アレグロから)
E.Lalo	: スペイン交響曲
F.Mendelssohn	: e-moll
N.Paganini	: 第1番 D-dur
S.Prokofiev	: 第1番 D-dur
S.Prokofiev	: 第2番 g-moll
C.Saint-Saëns	: 第3番 h-moll
J.Sibelius	: d-moll
P.I.Tchaikovsky	: D-dur
H.Vieuxtemps	: 第5番 a-moll (アダージョの前まで)
H.Wieniawski	: 第1番 fis-moll
H.Wieniawski	: 第2番 d-moll

b) ヴィオラ

- (1) J.S.Bach: Cello Suite の中から任意の楽章(繰り返しなし)
- (2) 以下の5曲の中から任意の1曲(3~5は第1楽章、または終楽章)
 1. F.A.Hoffmeister : D-dur 第1楽章(カデンツァ付)
 2. C.Stamitz : D-dur op.1 第1楽章(カデンツァ付)
 3. B.Bartók
 4. P.Hindemith : Der Schwanendreher(白鳥を焼く男)
 5. W.Walton

c) チェロ

- (1)、(2)、(3)の順に演奏すること。尚、演奏の途中でカットする場合がある。
- (1) 以下のすべてを演奏する。
 - スケール 4オクターブ 一弓8音 C-dur と a-moll
 - 6度の重音スケール 2オクターブ 一弓2音 C-dur
 - 8度のオクターブ 2オクターブ 一弓2音 C-dur
- (2) J.S.Bach: 無伴奏組曲6曲の中から任意のプレリュード1曲
- (3) 以下のコンチェルト等の中から任意の1曲(第1楽章または終楽章)
 - L.Boccherini : B-dur
 - A.Dvořák : h-moll
 - E.Elgar : e-moll(1、2楽章または終楽章)
 - J.Haydn : 第1番 C-dur
 - J.Haydn : 第2番 D-dur
 - A.Khachaturian : e-moll
 - E.Lalo : d-moll
 - S.Prokofiev : 第2番 e-moll op.125 Sinfonia Concertante
 - C.Saint-Saëns : 第1番 a-moll op.33
 - R.Schumann : a-moll
 - D.Shostakovich : 第1番 Es-dur op.107
 - P.Tchaikovsky : Rococo-Variations(主題と最終変奏を含めて10分程度にまとめる)
 - S.Barber : op.22
 - D.Kabalevsky : op.49
 - S.Prokofiev : op.132 Concertino
 - W.Walton

d) コントラバス

次の(1)または(2)の中から1曲選んで演奏する。

- (1) 任意のコンチェルトの第1楽章または第3楽章(10分以内)
- (2) 任意のバロックソナタの緩徐楽章と急速楽章(10分以内)

上記課題以外の条件で受験を希望する者は、受験生の実技教員・指導者による理由書を出願時に提出すれば受験することができる。

管楽器専攻

以下の(1)、(2)、(3)を演奏する。(専攻楽器によって課題曲数は異なる。)
 暗譜で演奏するか否かは自由とする。
 伴奏者は本学で準備する。(無伴奏作品を除く)

a) ピッコロ

以下の(1)をピッコロで、(2)をフルートで演奏する。

- (1) J.S.Bach : Flute Sonata C-dur BWV1033 より Adagio
- (2) E.Köhler : フルート演奏の上達 op.33 第2巻より 任意の1曲

b) フルード

- (1) J.Andersen : 24 Studien op.21 から No.24
- (2) 以下の(a)～(f)から任意の1曲を演奏する。
 - (a) G.Enesco : Cantabile et Presto
 - (b) G.Fauré : Fantaisie
 - (c) E.Bozza : Image
 - (d) 一柳慧 : 忘れえぬ記憶の中に
 - (e) S.Karg-Elert: Sonata Appassionata op.140
 - (f) I.Yun : Etüden より No.5 Allegretto

c) オーボエ

- (1) W.Ferling : 48 Etudes (Pierre Pierlot 版)
 No.5、6、9、10、14、17、18、19、20、24、27、35 の中から任意の1曲
- (2) 以下の(a)または(b)のいずれかを演奏する。
 - (a) F.J.Haydn : Concerto for Oboe C-dur (Breitkopf 版)より第1楽章
 - (b) W.A.Mozart : Concerto for Oboe C-dur K.314 (版は問わない)より第1楽章
 (カデンツァなし)

d) クラリネット

- (1) 以下の(a)または(b)のいずれかを演奏する。
 - (a) C.Rose : 32 Etudes (Leduc 社版)から、任意の奇数番号と偶数番号を
 それぞれ1曲(合計2曲)選択する。
 - (b) E.Cavallini : 30 Caprices から任意の1曲
- (2) 以下の(a)または(b)のいずれかを演奏する。
 - (a) C.M.v.Weber : Concertino op.26
 - (b) C.M.v.Weber : Concerto op.73 f-moll 第1楽章

e) バス・クラリネット

- (1) U.Delécluse: Vingt étude faciles 1、3、5、7番より任意の1曲
- (2) J.Semler-Collery: Légende et Divertissement pour clarinette basse et piano より
 “Divertissement”
- (3) R.Eichler: Scales for Clarinet より1番(ソプラノクラリネットで演奏のこと)
 ※調性は当日指定する

f) ファゴット

- (1) J.Weissenborn: Fifty Bassoon Studies op.8 Vol. II より No.4、13

g) サクソフォン

- (1) W.Ferling: 48 Etudes (Leduc 社版)から、
 任意の奇数番号と偶数番号をそれぞれ1曲(合計2曲)選択する。
- (2) 任意の楽曲を1曲(10分程度、サクソフォンのためのオリジナル作品に限る)

h) トランペット

(1) 自由曲1曲。繰り返しは自由とする。

i) テノール・トロンボーン

繰り返しは省略する。

(1) G.Kopprasch : 60 Etudes for Trombone No.6、14、19、42、44 から任意の1曲

(2) 以下の3曲から任意の1曲

(a) B.Marcello : Sonata F-dur 第1、4楽章(International Music 社版)

(b) E.Sachse : Concertino 最初から Adagio の終わりまで

(International Music 社版)

(c) A.Guilmant : Concert Piece op.88(International Music 社版)

j) バス・トロンボーン

(1) O.Blume:36 Studies for Trombone with F Attachment

No.7、8、14、19、31 から任意の1曲(Carl Fischer 社版)

(2) 以下の3曲から任意の1曲

(a) A.Lebedev : Concerto in One Movement (Musicus 社版)

(b) E.Sachse : Concertino 最初から Adagio の終わりまで(International Music 社版)

※ F-dur で演奏してもよい

(c) E.Bozza : Allegro et Finale(A.Leduc 社版)

k) ユーフォonium

繰り返しは省略する。

(1) M.Bordogni(arr.J.Rochut) : Melodious Etudes for Trombone No.8

(Carl Fischer 社版)

(2) G.Kopprasch : 60 Etudes for Trombone No.33(全音楽譜出版社版)

l) テューバ

(1) 以下の曲から任意の1曲を演奏する。繰り返しは省略する。

G.Kopprasch : 60 Etudes for Tuba No.11、14、27、35(版指定なし)

(2) 以下の曲から任意の1曲を演奏する。

M.Bordogni:43 Bel Canto Studies for Tuba No.1、2、6(Robert King 社版)

m) ホルン

(1) 以下の曲から任意の1曲(版指定なし)

(a) W.A.Mozart:Horn Concerto No.3 から 第1楽章(カデンツァなし)

(b) W.A.Mozart:Horn Concerto No.2 から 第1楽章

打楽器専攻(本学の楽器を使用)

暗譜で演奏するか否かは自由とする。

a) パーカッション

自由曲 8分以内(カット演奏も可)

b) マリンバ

自由曲 8分以内(カット演奏も可)

ハープ専攻

暗譜で演奏する。自由曲1曲。(無伴奏とする)

古楽器専攻

以下の(1)、(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

注1) リコーダー、フラウト・トラヴェルソ、バロック・オーボエ、ヴィオラ・ダ・ガンバの志願者は当日 $a^1 = 415$ の専攻楽器を使用すること。
バロック・ヴァイオリンおよびバロック・チェロの受験にあたっては、モダン楽器での受験も可とする。ただし、ピッチは $a^1 = 415$ とし、ガット弦およびバロック弓を使用すること。
注2) 伴奏者は本学で用意する。

a) リコーダー

(1) 課題曲

G.F.Händel または G.Ph.Telemann:リコーダーのためのソロソナタから任意の1曲

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

b) フラウト・トラヴェルソ

(1) 課題曲

G.F.Händel: Sonata h-moll (Hallenser Sonata No.3, HWV376) 全楽章
繰り返しは任意。[推薦楽譜] Bärenreiter 社版(1995年、T.Best の新版)

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

c) バロック・オーボエ

(1) 課題曲

G.F.Händel: Sonata B-dur HWV357 全楽章

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

d) ヴィオラ・ダ・ガンバ

(1) 自由曲(10分程度)

e) バロック・ヴァイオリン

(1) 課題曲

① 以下の(a)、(b)のいずれか1曲

(a) 17世紀イタリアのソナタから任意の1曲
(Marini, Castello, Fontana, Uccellini 等から)

(b) 任意の Diminution、Division から1曲
(Bassano, Rognoni, Gabrielli あるいは Division Violin から)

② A.Corelli: ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ 作品5

No.1~6, No.12 から任意の1曲
(No.1~6を弾く場合は装飾付き。装飾は印刷のものでも自作でもよい)

③ J.S.Bach: ヴァイオリンとオブリガート・チェンバロのためのソナタ

No.1~6 から任意の1曲(全楽章)(当日審査員が演奏する楽章を指定する)

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

f) バロック・チェロ

(1) 課題曲

- ① A. Vivaldi : Sonata から任意の1曲(全楽章)
- ② J.S. Bach : 任意のチェロ組曲から2つの楽章

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

g) チェンバロ

(1) 課題曲

次の作品をすべて演奏する。ただし、演奏順序は自由。

- ① J.S. Bach: 平均律クラヴィーア曲集 第1巻 第17番 As-dur
[推薦楽譜] Bärenreiter 社版、Henle 社版および ウィーン原典版
- ② D. Scarlatti: Sonata K.105
[推薦楽譜] カークパトリック編 60 のソナタ 全音楽譜出版社版 および Heugel 社版
- ③ F. Couperin : クラヴサン曲集 第2巻 第6オールドル“Les Bergeries ”
[推薦楽譜] Bärenreiter 社版 および Heugel 社版
- ④ G. Frescobaldi: Balletto(primo)- Corrente - Passacagli
[推薦楽譜] Bärenreiter 社版

(2) 初見演奏

バロック時代の簡易な舞曲あるいはそれに準ずる小品。

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

※当日は後期フレミッシュ・モデル2段鍵盤チェンバロ(音域 FF-g^{'''}、ピッチ a[']=415、レジスタ 8' 8'' 4' L)を使用する。

※課題曲および推薦楽譜、使用楽器について不明な点がある場合は、事務局入試係に問い合わせること。

声乐専攻

暗譜で演奏する。

イタリア古典歌曲(注)2曲以上を含む5曲を提出し、そのうち任意の1曲と、抽選による1曲の合計2曲を演奏する。出願の際、受験曲目票に原語で作曲者名と曲名を記入する。オペラ・アリア以外は調性も明記する。

※出願書類とともに受験曲5曲の伴奏譜を必ず提出する。「任意の1曲」には伴奏譜提出票に「任意曲」と明記し、受験曲目票に曲目を記入すること。

(注)以下の楽譜に記載の曲から選ぶこと。移調は自由。

Ricordi(リコルディ社)Arie Antiche vol.1・2・3
全音楽譜出版社「イタリア歌曲集」1(新版を含む)・2
教育芸術社「イタリア古典声楽曲集」1・2

作曲専攻

(1) 作曲作品提出(複数でもよい)

※出願の際、出願書類とともに提出すること。

※音源・映像を提出する場合は、CD-R、DVD-R、Blu-ray、USB メモリでの提出も可

※映像の際、作曲者氏名は出さないようにすること。

(2) 専攻に関する面接

(3) 楽器等演奏(声乐を含む)5分以内の自由曲。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

指揮専攻

- (1) 実技(暗譜で演奏するか否かは自由とする。)
W.A.Mozart :「魔笛」序曲
L.v.Beethoven :Symphony No.2 第1楽章
注)以上2曲とも、本学で用意した2台ピアノの伴奏による。
- (2) 専攻に関する面接
- (3) 理論ピアノ(①と②の演奏時間は合わせて15分以内とし、暗譜で演奏する。)
 - ① J.S.Bach:平均律クラヴィーア曲集第I・II巻から任意の1曲(プレリュードとフーガ)
 - ② 自由曲1曲
 - ③ 新曲初見演奏1曲(予見時間5分)
- (4) 和声:旋律課題(ピアノ使用不可・3時間)
- (5) 新曲視唱・聴音

ミュージコロジー専攻

- (1) 専攻小論文(1時間 30分)
 - (2) 専攻外国語(1時間 30分)
英語、ドイツ語、フランス語から1カ国語を選択する。
※辞書(電子辞書含む)の持ち込み可。
 - (3) 専攻に関する面接
- (注)2027年度本学音楽学部をミュージコロジー専攻で受験した者は「カレッジ・ディプロマ・コース ミュージコロジー専攻試験」を書類審査で替える場合もある。通常の出願手続締め切り後、事務局入試係から本人宛に通知する。

出願書類等（新規受験者－SD・CD）

※以下の内容は、新規受験者用である。

※継続手続き者の出願書類等については、P.21 を参照のこと。

■ 提出書類等

※レターパックにて郵送のこと。

※カレッジ・ディプロマ・コース志願者で実技試験を免除される者は a)、b)、d)、i)のみの提出でよい。

a) ディプロマ・コース志願票・受験曲目票	志願票と受験証の所定の枠に合わせて写真を貼付する。
b) 受験証	
c) 卒業(または卒業見込)証明書	最終学歴のもの。桐朋学園大学・桐朋女子高等学校音楽科の卒業生および卒業見込みの者は不要。
d) 受験証返送用封筒	長3サイズ(120mm×235mm)封筒を準備し、志願者本人が受け取る住所・宛名を明記する。封筒右下に専攻を記入し、410円分の切手を貼付する。
e) 伴奏譜(コピー可) ※「伴奏譜提出票」貼付する ※CDのみ	カレッジ・ディプロマ・コース志願者で、本学の伴奏者が担当する場合のみ提出。コピー譜の場合は伴奏者が伴奏しやすいようにテープで屏風綴りにして提出する。 「伴奏譜提出票」の記入について 1. 「※受付番号」欄は、何も記入しない。 2. 「区分」欄は、CD と記入する 3. 「専攻楽器」欄は「楽器略語・コード表」(P.1参照)の楽器略語のみを記入する。
f) 作曲作品 ※CD・作曲専攻のみ	カレッジ・ディプロマ・コース作曲専攻志願者は、試験課題1)作曲作品(複数でもよい)を提出する。
g) 桐朋学園音楽部門奨学金申請書 ※SDのみ	ソリスト・ディプロマ・コース志願者で希望する者は提出する。(P.27参照)
h) 桐朋学園音楽部門学生会館入居願	希望する者は提出する。(P.27参照)
i) 振込証憑書類	ATMのご利用明細書のコピー、ネットバンキングでの振込後の画面を印刷したもの等入学検定料を振り込みしたことが分かる書類

注1) c)、e)～h)は該当者のみ提出。

注2) 出願書類がレターパックに入らない場合は、簡易書留郵便での郵送も可とする。

■ 出願書類提出先

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1

桐朋学園大学音楽学部 事務局入試係

電話:03-3307-4122(直通) メール:exam@tohomusic.ac.jp

出願書類記入上の諸注意

「志願票・受験曲目票」記入上の注意

1. 志望コース ……………該当する番号に○をつける。
2. 楽器略語・コード…………「楽器略語・コード表」(P.1)に従って記入する。
3. 氏名 ……………戸籍名を楷書で記入する。姓と名に分け、フリガナをふる。外国籍の場合はアルファベット名を併記する。
4. 性別 ……………該当に○をつける(任意)。
5. 生年月日 ……………西暦で年月日を記入する。
6. 手続書類等宛先 ……原則として現住所を記入する。現住所以外へ送付希望の場合は、該当欄に送付住所、「様方」を記入すること。
7. 保証人氏名 ……………正確に記入する。〔入学を許可された場合には保証人(独立の生計を営む満25歳以上の人)を立てる必要がある。〕
8. 受験時連絡先 ……………受験者の連絡先、メールアドレスを記入する。
9. 設置者・出身学校名等(在学中を含む)… 該当する番号に○をつけ、正式な学校名等を記入する。
10. 卒業・卒業見込年 ……卒業年または卒業見込年を西暦で記入する。
11. 選考試験免除資格の有無(カレッジ・ディプロマ・コースのみ)
… 該当する番号に○をつける(P.8参照)。
12. 修了以外に単位取得の目的の有無
…単位取得の目的が、コース修了以外にない場合「1なし」に、コース修了とは別に、留学先での単位活用等の目的がある場合「2あり」に○をつける。
なお、合否には関係ありません。
13. 本学音楽学部との併願
… カレッジ・ディプロマ・コース ミュージコロジー専攻で出願する場合のみ記入する。本学音楽学部と併願している場合「2あり」の数字に○をつける。
14. 障がいおよび配慮希望の有無・内容
…障がいがある場合は診断名および配慮希望の有無、内容を記入する。
※任意、別紙可、合否には一切関係ありません。
15. 入学後の実技担当希望教員名
… 入学後の専攻実技担当教員は本学において決定するが、特に希望がある場合は、担当希望教員名を記入する。ただし希望に添えない場合がある。
16. 音楽歴、職業等 ……音楽歴は今まで特に学習した音楽の内容等、現在の職業、現況を記入する。
17. 伴奏 ……………ソリスト・ディプロマ・コース(ピアノ専攻以外)は、同伴する伴奏者の氏名を記入する。カレッジ・ディプロマ・コースで伴奏が必要な場合は「1」に、伴奏不要の場合は「2」に○をつける。

18. 受験曲目票

ーソリスト・ディプロマ・コースー

任意で選択した演奏曲の作曲者名、曲名、調性、楽章等を該当する課題番号の欄に記入する。

ーカレッジ・ディプロマ・コースー

任意で選択した演奏曲の作曲者名、曲名、調性、楽章等を該当する課題番号の欄に記入する。
記入の際には、以下の点に注意すること。

- ・打楽器専攻(自由曲)、ハープ専攻(自由曲)は、(1)欄に記入する。
- ・フラウト・トラヴェルソ、バロック・オーボエ、チェンバロ専攻については記入する必要はない。
- ・リコーダー、ヴィオラ・ダ・ガンバ専攻については(1)欄に記入する。
- ・バロック・ヴァイオリン専攻の、①は課題(1)欄に、②は課題(2)欄に、③は課題(3)欄に記入する。
- ・バロック・チェロ専攻の、①は課題(1)欄に、②は課題(2)欄に記入する。
- ・声楽専攻は、5曲を課題(1)～(5)に記入する。そのうち任意の1曲(抽選に委ねない曲)を課題(1)欄に記入する。
- ・作曲専攻の(3)は、(1)欄に記入する。
- ・指揮専攻の(3)は、①を課題(1)欄に、②を課題(2)の欄に記入する。
- ・ミュージコロジー専攻は、受験する専攻外国語の該当番号を○で囲む。

在籍者の履修継続（再登録） 手続について

各コースとも2年目以降の在籍を希望する者は、在籍年限内に毎年度、履修継続（再登録）の手続を必要とする。この手続を行わない者はその年度末で退籍となる。
 なお、履修継続（再登録）出願を行っても、本学が履修困難と判断した場合は、在籍を認めない場合がある。

コース	在籍年限
ソリスト・ディプロマ・コース(SD)	通算7年まで
カレッジ・ディプロマ・コース(CD)	通算5年まで

履修継続（再登録）出願・手続方法

1. 履修継続（再登録）出願要領

出願資格 出願時点において、ディプロマ・コースに在籍し、在籍年限に達していない者

出願期間 2027年2月1日(月)～2月10日(水)

【レターパックライトでの郵送に限る。2月10日必着】

出願料 5,000円

STEP 1 手続書類受領

桐朋学園大学事務局より、手続き書類を受領。（書類は郵送にて在籍者の自宅へ送付される。）
 < 手続書類 > : 「志願票（再登録用）・受付証」

STEP 2 入学検定料納入

出願期間内に振り込み手続きを行う。（下表参照）

STEP 3 書類の郵送

- ① STEP1で受領した「志願票（再登録用）と受付証」を記入
- ② 提出書類等をレターパックライトにて郵送 → 事務局受付（出願完了）

入学検定料	5,000円
振込先	・みずほ銀行調布支店 当座 9778 ・三菱UFJ銀行仙川支店 当座 49612 ・三井住友銀行国領支店 当座 1015159
振込先口座名義	学校法人桐朋学園音楽科 [ガク)トウホウガクエンオンガクカ]
注意事項	振込の際は 振込人名義を「受験者」とし、名前の前にSDは「1312」、 CDは「1342」と加えること。 (例:1312 トウホウ タロウ) [注] 出願が受理されている場合、受験を取りやめた場合でも、払込済みの入学 検定料は返還しない。

提出書類等

- 1) 志願票（再登録用）
- 2) 受付証
- 3) 振込証憑書類（ATMのご利用明細書のコピー、ネットバンキングでの振込後の画面を印刷したもの等入学検定料を振り込みしたことが分かる書類）
 - ※ 志願票の記入方法は、P.19を参照のこと。
 - ※ 出願手続が完了した者には「履修継続手続書類」を送付するので、以下の2.に記載の手続を行うこと。

2. 履修継続(再登録)手続要領

締 切 日 2027年3月15日(月) [郵送必着]

提出書類等 ・銀行等金融機関の収納印のある「納付金払込用紙」の副票
 ・写真(タテ4cm×ヨコ3cm) 1枚 他
 ※詳細は「履修継続手続書類」送付時に通知する。

校 納 金 (2027年度予定)

受 講 料	前期	450,000 円	※
	後期	450,000 円	
施 設 設 備 費	前期	50,000 円	※
	後期	50,000 円	
別 納 受 講 料	選択副科(声楽以外)	96,000 円	年額、希望者のみ
	選択副科(声楽)	66,000 円	年額、希望者のみ
	室内楽・二重奏ソナタ	50,000 円	年額、希望者のみ
	理論ピアノ	160,000 円	年額、希望者のみ

注1) ※印のついた校納金[500,000円]を継続手続時に納める。

注2) 経済情勢の変動等に応じて次年度以降の校納金については改定があり得る。

ソリスト・ディプロマ・コースの教育課程について

在籍年限	<p>通算7年まで。 在籍登録は1年ごととし、履修継続(再登録)希望者は毎年度所定の手続きをしなければならない。(P.21 参照)</p>
履修科目等	<p><必修科目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・専攻実技 ・ソルフェージュ [BCクラス修了まで]* ・音楽理論(和声実習) [3年間]* ・音楽史 [2科目以上合計8単位] <p>*桐朋女子高等学校音楽科の卒業生は一部免除される</p> <p><選択科目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーケストラ、合奏(アンサンブル)(弦楽器・管楽器の各専攻) ・大学で開講されている科目(当該科目の担当教員が認めた場合) ・選択副科(受講料別納) ・室内楽・二重奏ソナタ(受講料別納) <p>その他:大学の各種オーディションを受けることができる。</p>
修了	<p>通算3年以上在籍し、修了試験(リサイタル/公開)に合格した場合に修了とする。不合格の場合は、在籍年限の範囲内で、次年度以降に再度登録のうえで受験できる。修了試験受験資格および修了試験については、以下のとおり定める。</p> <p><ピアノ専攻></p> <p>次の2種類の計5回の試験で所定の成績を修めると修了試験の受験資格を得る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイタル試験(60分程度/公開)を3回。 うち1回は曲目の半分をトリオ以上の室内楽とする。 ・コンチェルト試験(公開)を2回。 ※上記試験は、年間4~5回設定される試験日を任意に選択して受験できる。 <p>・修了試験:リサイタル試験(60分程度/公開)</p> <p><ヴァイオリン専攻・チェロ専攻・フルート専攻・声楽専攻></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年次試験で所定の成績を2回連続して修めると修了試験の受験資格を得る。 ・修了試験:リサイタル試験(60分程度/公開)

カレッジ・ディプロマ・コースの教育課程について

在籍年限	通算5年まで。 在籍登録は1年ごととし、履修継続(再登録)希望者は毎年度所定の手続きをしなければならない。(P.21 参照)
履修科目等	桐朋学園大学音楽学部で開講されている科目を受講する。
年次修了	専攻実技の年次試験で所定の成績を修め、指定された履修科目(大学学部が開講されている「専門科目」から3科目以上)の単位を修得した者に対し、年次修了を認め、成績配布時にその旨を通知する。年次修了を2回取得した者には、コース修了試験の受験資格が与えられる。
コース修了	コース修了試験の受験資格を得た者は、コース修了試験を受験することができる。 なお、年次修了を1回取得し、指定された履修科目の単位を修得し、実技成績が優秀な者は、翌年度に年次試験を受験することなくコース修了試験を受験できることもある。この場合は、事務局へ「修了試験特別受験申請書」を提出し、受験可否を確認すること。 コース修了試験に不合格の場合は、在籍年限の範囲内で、次年度に再度登録手続のうえ受験できる。在籍年限内にコース修了試験に合格しない場合は退籍となる。

(1) 必修科目(専攻実技)

各学生の特性や能力に応じて、担当教員と相談しながら個別にカリキュラムを構成する。

[ピアノ]

年次試験・修了試験	
1年次	12月に1回〔年次試験〕。その年度に研究したものの中から20分程度のプログラムを用意する。
2年次	12月に1回〔年次試験〕。その年度に研究したものの中から20分程度のプログラムを用意する。
3年次	3月に1回〔修了試験〕。内容については別途指示する(大学卒業試験に準じる)。

[ヴァイオリン・ヴィオラ]

年次試験・修了試験	
1年次	1月に1回〔年次試験〕。ピアノとの任意のソナタの第1楽章またはそれに準じる内容の他楽章。
2年次	1月に1回〔年次試験〕。コンチェルトまたはそれに準じる作品。
3年次	1月に1回〔修了試験〕。コンチェルトまたはそれに準じる作品。

[チェロ]

年次試験・修了試験	
1年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。試験課題は大学生に準じる内容。掲示で発表される。
2年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。試験課題は大学生に準じる内容。掲示で発表される。
3年次	7月と1月の年2回、1月は〔修了試験〕としてホールで実施。

[コントラバス]

年次試験・修了試験	
1年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。試験課題は大学生に準じる内容。掲示で発表される。
2年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。試験課題は大学生に準じる内容。掲示で発表される。
3年次	7月と1月の年2回、1月は〔修了試験〕としてホールで実施。自由曲。

〔管楽器〕

年次試験・修了試験	
1年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。試験課題は大学生に準じる内容。掲示で発表される。
2年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。試験課題は大学生に準じる内容。掲示で発表される。
3年次	7月と1月の年2回、1月は〔修了試験〕としてホールで実施。自由曲。

〔打楽器〕

年次試験・修了試験	
1年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。自由曲。
2年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。自由曲。
3年次	7月と1月の年2回、1月は〔修了試験〕として実施。自由曲。

〔ハープ〕

年次試験・修了試験	
1年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。課題については個別に指示する。
2年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。課題については個別に指示する。
3年次	7月と1月の年2回、1月は〔修了試験〕として実施。

〔古楽器〕

年次試験・修了試験	
1年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。課題については個別に指示する。
2年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。課題については個別に指示する。
3年次	7月と1月の年2回、1月は〔修了試験〕として実施。

〔声楽〕

年次試験・修了試験	
1年次	1月に1回〔年次試験〕。自由曲1曲。
2年次	1月に1回〔年次試験〕。自由曲1曲。
3年次	1月に1回〔修了試験〕。課題は別途指示する。

〔作曲〕

年次試験・修了試験	
1年次	1年に1曲以上、作品提出(2月上旬)。
2年次	1年に1曲以上、作品提出(2月上旬)。
3年次	修了作品提出(2月上旬)。

〔指揮〕

年次試験・修了試験	
1年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。自由曲。
2年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。自由曲。
3年次	7月と1月の年2回、1月は〔修了試験〕として実施。課題は別途指示する。

〔ミュージコロジー〕

以下の科目を必修とする。	
1年次	音楽学・古楽総合演習Ⅰ, 音楽学概論, Introduction to Musicology, 和声法Ⅰ
2年次	音楽学・古楽総合演習Ⅱ, 音楽理論(分析)Mu-1・Mu-2, 和声法Ⅱ
3年次	音楽文献学, 音楽理論(分析)Mu-3・Mu-4, 音楽理論(応用和声Ⅰ)

(2) 専攻以外の科目

音楽学部で開講されている「専門科目」を履修する。

授業内容については、以下の本学ホームページで参照することができる。

<https://www.tohomusic.ac.jp/college/faculty/c-curriculum/>

ミュージコロジー専攻は、前述「専攻科目」以外の科目を年間1科目履修すればよい。

和声法 I, II	音楽理論概論 I, II	女声合唱
音楽理論(応用和声 I, II)	音楽学・古楽総合演習 I, II	男声合唱
音楽理論(分析)	音楽文献学	ディクシヨ(日・独・仏・伊・露)
芸術音楽	ソルフェージュ	声楽アンサンブル
作曲法演習 A, B, C	キーボード・ソルフェージュ	オペラクラス
音楽史 I, II	スコア・リーディング	オペレッタ・ミュージカル演習
音楽史概説	ピアノ演奏法	オーケストラ
管弦楽史 I, II	ピアノ実技指導法	副科実技 *
鍵盤音楽史 I ~ IV	ピアノ伴奏法 I ~ III	理論ピアノ *
室内楽史 I, II	伴奏クラス I, II	演奏解釈
オペラ・オラトリオ史 I, II	弦合奏 I, II	公開演奏
20世紀アンサンブル史	管リード講座	伴奏
音楽史各論 I ~ XVIII	管アンサンブル	室内楽 *
日本の伝統音楽	ウインド・オーケストラ	二重奏ソナタ *
民族音楽	打アンサンブル	室内楽講座 A(ピアノ)
日本音楽概論	ハープ・アンサンブル	指揮法
民族音楽学概論	ハープ・オーケストラ・スタディ	音楽音響学
和楽器実習	古楽演奏実践 I, II	音楽療法の理論と技法
日本歌唱	古楽アンサンブル	音楽心理学
楽書講読(独・仏)	通奏低音 I, II	演奏科学
コンピュータ音楽実習 I ~ III	民族音楽実習	

注1)ソルフェージュ、和声法はクラス分けのための試験を行う。

注2)音楽理論(和声の高度な知識を必要とする)の中には、履修制限を設ける科目がある。

注3)科目により、受講にあたって試験を課すことがある。

注4)履修登録者数により受講制限を設けることがある。

注5)合奏(アンサンブル)・オーケストラの受講については開講時に担当教員に確認すること。

注6)*印の科目〔副科実技、理論ピアノ、室内楽・二重奏ソナタ〕は、別途受講料納入が必要となる。

(3) その他

- 大学の各種オーディションを受験することができる。
- 「教職課程科目」を履修する場合は、本学「科目等履修生」に同時に在籍登録をしなければならない。「科目等履修生」出願等については別に配付する「科目等履修生募集要項」(12月配付開始予定)を参照すること。
また、教員免許状を取得するためには、基礎資格として「学士」の学位が必要であり、ディプロマ・コース修了のみでは教員免許状は取得できない。(詳細は事務局に問い合わせること)
- 2025年度より、カレッジ・ディプロマ・コース在籍者を対象とした(複数専攻履修制度)が設置されている。受講にあたり、履修登録可否を判定する試験を課す。受講料: 年額 450,000円

特待生制度および奨学金制度・学生会館

特待生制度

ソリスト・ディプロマ・コース生で、入学試験または所定の学内試験における専攻実技の成績が極めて優秀であると認められた者は、「特待生」として登録料・受講料などを全額または一部を免除する。

奨学金制度

成績優秀者または経済的な理由により就学が困難なソリスト・ディプロマ・コース生を対象に、各種の奨学金制度がある。

1. 本学独自の奨学金制度〔給付〕

◎桐朋学園音楽部門奨学金

向学心を持ちつつも、経済的理由で就学が困難な学生を対象とする。

1年ごとに選考を行い、授業料の1割から10割を年1回(10月)給付する。

原則として、日本学生支援機構奨学金(第一種)の算出基準に準拠、実状を考慮し決定する。

申請方法:入学前と入学後の申請がある。

① 入学前の申請

入試要項添付の申請書に必要事項を記入、書類を添付のうえ、入学試験志願票とともに提出する。

給付の可否についての審査結果は、2027年2月20日頃(予定)に郵送する。

採用者には、入学後、奨学金運営委員会による面接が7月中旬に実施される。

② 入学後の申請

在学生を対象とする募集要項は、4月末に学内専用サイトへ掲載する。

入学前に申請した者も、再度申請することができる。

注)再登録者は在学申請のみとなり、申込みは②と同時期に行う。

◎桐朋学園音楽部門 特別奨学金

成績の特に秀でた学生に対し年度末に給付される。

◎桐朋学園音楽部門 留学支援 江崎スカラシップ

次世代の音楽界を担うことが期待されている大学・大学院・ディプロマコース・大学院大学のピアノ・弦楽器専攻生を対象に海外留学支援のための奨学金が給与される。

対象者:ピアノ・弦楽器専攻生2名 給付金額:1名につき500万円(ただし、1回限り)

2. その他

◎国の教育ローン(日本政策金融公庫が取り扱う公的な融資制度)

<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

学生会館

自宅通学が困難な女子学生・生徒のために、調布キャンパスより徒歩約5分(京王線調布駅より徒歩約15分)の場所に学生会館を用意している。

タイプ	防音ワンルーム型マンション
住戸面積	約21㎡(1住戸当り)
仕様	ミニキッチン・バス・トイレ・エアコン等各室完備
住戸数	115戸
入居費	月額78,000円
その他	7:00~23:00まで練習可能。 入居時に諸経費として50,000円が必要。光熱水費は自己負担 (経済情勢の変動等に応じて次年度以降の入居時の諸経費については改定があり得る)

2027年度の募集について

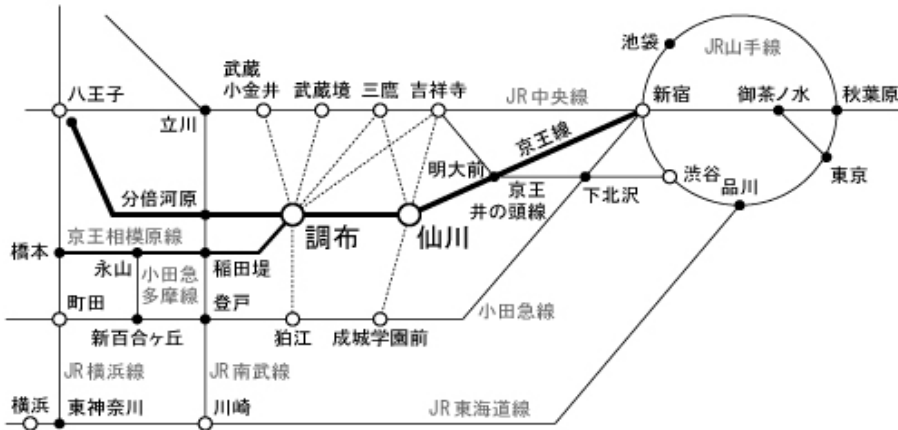
(1)募集人数は約30名。希望者多数の場合は抽選(高校生、大学生を含む)。

(2)入居希望者は「学生会館入居願」(ダウンロードする書類)を入学試験志願票と共に提出すること。

(3)入居の可否通知は「入学試験」合格発表日の翌日(予定)に、合格者宛に発送する。

交通機関案内図

■ 交通案内 <京王線 調布駅－新宿駅より特急で約 16 分、仙川駅－新宿駅より快速で約 18 分>



◆ 京王線以外からのルート

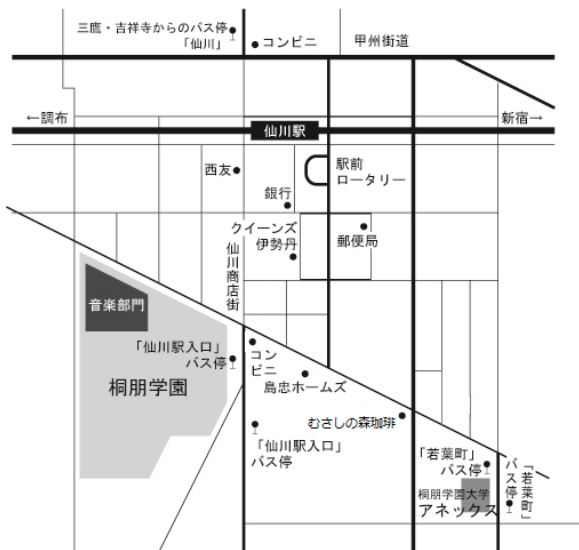
<仙川キャンパス>

- 小田急線「成城学園前」駅発 (バスの所要時間約 15 分)
小田急バス 「狛江営業所」または「調布駅南口」行き
「仙川駅入口」バス停下車 徒歩 1 分
- JR 中央線「吉祥寺」駅発 (バスの所要時間約 25 分)
小田急バス 「仙川」行き 「仙川」バス停下車 徒歩 6 分
- JR 中央線「三鷹」駅発 (バスの所要時間約 30 分)
小田急バス 「仙川」行き 「仙川」バス停下車 徒歩 6 分

<調布キャンパス>

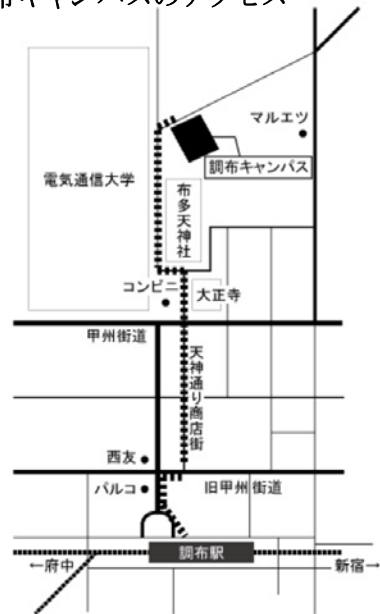
- 小田急線「狛江」駅発 (バスの所要時間約 20 分)
小田急バス 「調布駅南口」または「武蔵境駅南口」行き
「調布駅南口」または「調布駅北口」バス停下車 徒歩 10～12 分
- JR 中央線「吉祥寺」駅、「三鷹」駅、「武蔵境」駅、「武蔵小金井」駅発 (バスの所要時間約 30～40 分)
小田急バス 「調布駅北口」行き (吉祥寺、三鷹、武蔵境)
京王バス 「調布駅北口」行き (武蔵小金井)
「調布駅北口」バス停下車 徒歩 10 分

◆ 仙川キャンパスのアクセス



● 京王線「仙川」駅より 徒歩 5 分

◆ 調布キャンパスのアクセス



● 京王線「調布」駅より 徒歩 10 分

<仙川キャンパス> 〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1 03(3307)4122

<調布キャンパス> 〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘1-10-1 042(444)7055